地域支援だより「こやまが丘通信」は，本校の就学エリア（福山市，尾道市，府中市，三原市，竹原市，神石高原町，世羅町，大崎上島町）の保育所（園），幼稚園，小学校，中学校，高等学校の先生方に配付しています。

広島県立福山特別支援学校　地域支援だより

こやまが丘通信

令和元年９月発行

第３号

夏季休業中には，本校のセンター的機能の一つとして，７月 30 日，８月８日，８月 22 日に夏季セミナーを実施しました。ご多用の中,多数の地域の小・中学校，高等学校の先生方，県内の特別支援学校の先生方，医療・福祉関係者，保護者の方々にご参加いただきました。地域の先生方と共に学ぶことができ，有意義な研修となりました。

今号は，夏季セミナーの様子を紹介します。９月 30 日には公開研修会を実施予定です。詳細は，お問い合わせ下さい。

夏季セミナーの様子

肢体不自由のある子どもたちの「主体的な学び」をテーマとし，二つの公開講座を実施しました。

自分自身を認識することが大切

公開講座①広島県立大学　保健福祉学部　理学療法学科　島谷　康司教授「肢体不自由のある子供の主体的な動きを引き出す支援について」

講話では，肢体不自由児の能動的な動きを引き出す上で，発達的な視点をもつこと，自分自身を認識する力を育てることの大切さについて，ご示唆いただきました。近年の乳幼児研究において，胎生期段階で，指を口に入れたり，手や頬に触れたりするダブルタッチ等の感覚・運動経験を行っていることが研究で明らかになっています。自己に触れる経験がボディーマッピングの基礎となり，運動・認知発達が促されるそうです。また，理論の他にも，島谷先生が理学療法で取り組まれていた実践を紹介していただきました。参加者から「体験や動画などもあり，基本的な発達のことから支援に関することまで，深く知り考えることができて良かった」という感想があり，中身の濃い研修でした。

公開講座②香川大学　教育学部　特別支援教育　坂井　聡　教授（香川大学付属坂出小学校長・付属幼稚園長）「支援機器に関する考え方　肢体不自由のある人への実践について」

講演では，支援機器に関する考え方だけでなく，坂井先生からの「障害って何ですか。」「困っているのは誰ですか。」という問いかけは，私たち教員が，ICF の考え方や指導について，見つめ直すことができたと思います。参加者から，「障害とは配慮されていない環境で，支援者も環境の一部であるという話が印象に残っている」「支援機器をどう使うかだけでなく,支援そのものについての考え方を改めて整理ができた」などの声が挙げられていました。支援機器の活用を考える際に，それらを使って周囲の人とコミュニケーション成立の経験を繰り返し，人に働きかけることの楽しさ，面白さに気付かせる場の設定をいかに作っていくかという視点と「技術」が大切であることが分かりました。

やる気・愛情・・技術も大事！

秋季セミナー（公開研修会）のご案内

９月 30 日（月）「教科指導のあり方～自立活動の指導との区別を踏まえて」　教員限定

講師　福岡教育大学　特別支援教育学講座　一木　薫　教授

自立活動実践報告　「自分の方法で思いを伝えよう」　小学部　小川　涼太郎教諭

報告は，サインによるコミュニケーションの指導事例です。本校のアセスメントチェックリスト等を用いて児童生徒の実態把握をしています。さらに，自立活動 6 区分から実態把握を行い，指導すべき課題を整理して，具体的な指導目標を設定しています。

参加者からは，「児童が覚えたサインを,絵と言葉で一覧表にして,家庭との共通ツールとして活用されている点が参考になった」という声が多数寄せられました。

※下線部の具体的な手順や方法については，「特別支援学校教育要領学習指導要領解説自立活動編」の P27～28，本校の「自立活動ガイドブック第 8 版」の P44～58 を参照ください。）

肢体不自由のある子どもの教材教具・支援機器の展示

ユニバーサルフレーム

ユニバーサルフレームは，重力を軽減できる装置で，腰ベルトを装着し，ゴムで双方向に引っ張ることで，普段は取りにくい立位などの姿勢や少しの力で主体的な動きを引き出すことが可能となる教具です。参加者に，「重力軽減」を体験していただきました。

手作りの教材・教具

重度・重複障害のある子どもたちの発達段階に応じた教材・教具を作成し,展示しました。

教材の一部は，今年度発行された「自立活動だより 1 号」に，活用事例とともに掲載されていますので，是非ご覧ください。

スイッチや VOCA 等の支援機器

木琴を鳴らす支援機器や VOCA 等を展示しました。支援機器につなぐスイッチは，棒スイッチや頬の力で押すスイッチなど多数展示しました。子どもたちが現在持っている力を発揮できるスイッチを選び，参加の機会を増やしていきましょう。

特別支援学級・学校の先生方に、多数参加していただきました！

個別の教育相談会

11 名の特別支援学級・特別支援学校の先生方の参加がありました。ブースに分かれ,個別に先生方のお話や指導の悩みをお聞きし,一緒に指導・支援について考えさせていただきました。

肢体不自由特別支援学級等担任交流会

今年度は，外部の先生方を 15 名お迎えし,本校支援部を含め 22 名で実施しました。他の障害種の特別支援学級や西条特別支援学校の先生方の参加もありました。交流会は，活発な意見交流の場となりました。今後も，特別支援学級と特別支援学校を繋ぐ場を作っていけたらと思います。

公開進路研修会（「卒業後の進路について」　講師：進路指導部長　仁田　竜太郎教諭）

本校の進路指導の実際や卒業生の進路先の福祉事業所等の紹介をしました。将来を見据えた指導の必要性を感じた研修となりました。参加者からも学校卒業後のイメージを持つことができたという声が多数ありました。

お問い合わせ TEL 084-951-1513　受付時間：月～金曜日（祝祭日を除く）9：00～17：00
FAX 084-951-3864　Email　fukuyama-sh@hiroshima-c.ed.jp
〒720-0841 広島県福山市津之郷町津之郷 280-3　http://www.fukuyama-sh.hiroshima-c.ed.jp/
≪担当≫教育相談主任(特別支援教育ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ)：西谷（にしたに）　愛子（あいこ）　支援部長：安原（やすはら）　祥子（しょうこ）